

～学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業の取組事例～

いわてを走る移動図書館プロジェクト(山田町、大槌町、大船渡市、陸前高田市) 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

取組の基本理念

東日本大震災により、陸前高田市、大船渡市、大槌町、山田町の公立図書館は全部または一部の図書館機能を失うほど大きな被害を受けた。また、仮設団地入居・人口流出により地域の既存のコミュニティが解体されてしまったことも被災市町村に共通する問題である。図書館とはただ本を借りる場所ではなく、地域の人が集まる場としての役割も担っていることから、地域に図書館が無くなってしまったことは、集う場の一つを失ってしまったことを意味する。

シャンティは各自治体の教育委員会・公共図書館・仮設サポートセンター等と連携し、図書サービスの提供を通じコミュニティの再生を行う。

事業概要

上記4市町の住民の方が、図書サービスの提供を受けられるように2011年7月より仮設団地を中心に移動図書館活動を開始した。

図書サービスとは本の貸出のみではなく、人々が交流する場・学びの場である。特に仮設団地への入居により新たなコミュニティが形成される中、交流の場・学びの場を提供することは、地域コミュニティ形成支援においてもっとも重要な支援の一つだと言える。

現在25の仮設団地へ移動図書館活動を実施している。また、陸前高田市に図書室を開設し、大槌町仮設団地26カ所にて集会場・談話室に文庫(本棚)を設置している。

取組の概要

【移動図書館活動】

場所：山田町・大槌町・大船渡市・陸前高田市

内容：約2週間おきに仮設団地を訪問し本の貸出を行う。本を貸出だけではなく、お茶会を開くことで住民同士が交流できるようにしている。



【図書室】

場所：陸前高田市

内容：陸前高田市オートキャンプ場モビリア内の集会所の建設支援を行い、併設された図書室の運営を行っている。



【文庫活動】

場所：大槌町

内容：大槌町内の仮設団地内集会所と談話室にいつでも利用できる本棚を設置。定期的に本を入れ替え、リクエストにも応えている。

